

第1回 平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校開校等準備委員会（要旨）

□日時 令和元年6月26日（水） 19：00～21：00

□場所 那珂湊総合支所 会議室1

□出席者

<委員>

【自治会長】成瀬福次委員，根本正直委員，根本源一委員，黒沢紳一委員

【地域コミュニティ代表】大内茂章委員，深作正志委員

【PTA会長】根本礼子委員，薄井直之委員，鯉淵友和委員

薄井慎司委員，柏 行男委員

【学校長】中村純治委員，片岡幸恵委員，田部田康弘委員

岡崎宏一委員，二川忠典委員

<教育委員会>

野沢教育長，福地教育次長，樫村参事兼指導課長，井上参事兼総務課長

澤島施設整備課長，小澤学務課長，飯村指導課長補佐，安学務課技佐

國府田指導課指導主事，一木総務課長補佐

【議事要旨】

□事務局説明

(1) 統合校の基本構想について

統合校整備等推進委員会の各部会において，とりまとめてきた統合校の教育課程，施設整備や通学方法等の基本的な考え方について集約し，統合校整備のために必要となる基本的な方針等を内容とし，昨年11月に策定した「平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校基本構想」の内容について説明を行った。

(2) 統合校の検討組織について

統合校に係る各検討組織（統合校整備等推進委員会，関係各校連絡調整会議，開校等準備委員会，PTA検討委員会）の概要や所掌事項等について説明を行った。

(3) 開校等準備委員会設置要綱について

開校等準備委員会設置要綱について，目的や組織，所掌事務等について説明を行った。また当面の委員会のスケジュールについても説明を行った。

□協議事項

(1) 委員長、副委員長の選出について

委員長、副委員長を各1名ずつ選出するとなると、自治会、PTA、小学校長においては2名以上委員がいることから、中学校長が望ましいのではとの意見もあり、委員長に平磯中学校長の岡崎宏一委員、副委員長に阿字ヶ浦中学校長の二川忠典委員が選出された。

(2) 校名（案）の選定方法について

事務局より昨年実施した校名（案）の選定方法についてのアンケートの結果に基づき、平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区の住民を対象に校名（案）を公募することについて提案を行った。協議の結果校名（案）については、公募を実施することとし、公募に関する募集要項は下記の内容のとすることに決定した。

(応募期間)

校名については、開校準備の関係もあり今年9月末頃を目途に決定する予定であることから、校名の募集のチラシを市報7/10号と合わせて地域住民に配布をすることとし、募集期間を令和元年7月10日～同年8月15日とすることになった。また地域への募集チラシを配布するほかに統合対象校の児童生徒をとおしても配布を行うこととした（自治会未加入世帯や他の地域から通学する児童生徒への対応のため）。

(応募対象者)

公募の対象はアンケートの実施結果等も踏まえ平磯、磯崎、阿字ヶ浦地区の住民（未就学児を除く）及び平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区の小中学校の児童生徒（他の地域から通学している児童生徒もいるため）とした。

(応募基準・応募条件)

応募基準・応募条件については次のとおりとなった。また募集チラシに商標の確認方法についても掲載することとした（特許情報プラットフォームについて掲載）

- ・学校名としてふさわしいもの
- ・覚えやすく、親しみやすいもの
- ・他の名称や商標に類似しないもの
- ・使用する文字は漢字又はひらがなのみとする（併用は可）
- ・1人につき1点までの応募とする

(応募方法)

応募方法は郵送，FAX，ひたちなか市電子申請サービス（パソコン，スマートフォンに対応）によるものとした。また郵送，FAX用の応募用紙を募集チラシと合わせ1世帯あたり5部配布することとした。

(校名（案）の選定および決定)

校名（案）の選定および決定については，応募作品の中から開校等準備委員会において校名（案）を選定し，市が校名を決定することとした。また決定した校名については，市報や市のホームページ等で周知することとした。

(最優秀賞，優秀賞の選考)

応募作品の中から最優秀賞1点，優秀賞4点を選考し入賞者には記念品を贈呈することとした。また入賞した校名の応募者が多数になる場合は，予算に限りはあるが出来る限り記念品を贈呈できるように対応することになった。

(その他)

その他としては，採用された校名（案）に関する著作権などの一切の権利は，ひたちなか市に帰属するものとし，必要に応じて補作して使用できるものとした。また応募用紙や応募に係る個人情報の取り扱いについて決定した。

□情報提供

(1) 閉校式について

土浦市の平成30年度における小学校の統合時の事例を紹介した。特に学校が主催となって実施する閉校記念式典について実施内容や事業費，市の支援等の内容について情報提供を行った。また本市としても，校旗の返納など儀式的な意味合いが強い閉校式典については市が主催し，各校が独自に企画して行う閉校記念式典については各校で主催することを想定しており，閉校記念式典への市の支援としては1校あたり10万円～30万円の範囲で考えていることを説明した。

(2) 進捗状況について

学校施設の建設工事や通学路となる学校周辺道路の整備，新駅の整備工事について進捗や今後の工事予定のスケジュールについて情報提供を行った。

□その他

開校等準備委員会やPTA検討委員会を開催した際の出席者や協議の内容について，統合校だよりを発行し地域や保護者へ情報の発信をしていくこととした。また委員の氏名や会議の様子を撮影した写真を掲載することについて全委員の了承を得た。

今回は9月下旬に開催し，校名（案）の選定等を実施することを委員に報告した。